

# 英語科 遠隔学習指導 実践報告

## 1. 学年と単元・題材 1年「Lesson 1」

### 2. 教材について

本時では教材 *Total English 1* (学校図書) Lesson 1 “I like soccer.” を扱う。Lesson 1ということで、ALTのアレン先生の初めての授業である。動詞likeを用いて、自分の好きなスポーツや食べ物に関して主体的に自分の考えを伝え、また、「やり取り」という「対話」を通して、相手に尋ねたり、相手の考えを聞き取ることが目標である。聞き取れない場合の対処の仕方にも触れ、試行錯誤しながら、学びを深めていくように指導する必要がある。

遠隔学習であるが、図1のように教科書の絵を取り入れたり、教科書準拠CDの音声を使用して、教科書を最大限に生かすことができた。また、遠隔授業の利点として、生徒は一時停止を上手に使いながら、自分に合ったペースで授業を受けることができた。

また、英語の音声指導に関してはやはり遠隔授業の中で副教材“Active Phonics”を使い、英語の文字と音を組み合わせたフォニックスに十分慣らしてから、このLesson 1に入ることができた。

### 3. 本単元の目標／評価規準 (重点／記録)

#### (1) 本単元の目標

動詞likeを用いて、自分の好きなスポーツや食べ物に関して、意見を述べるとともに、相手に尋ねたり、相手のことばを聞き取り、試行錯誤しながら、対話を重ね、自己調整をしながら、学びを深める。

#### (2) 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	英語で自分の好き嫌いを判断し、それを表現できる。また相手とのやりとりをしながら話を続けていける。	主体的に発言しようとしている。また進んで相手に聞こうとしている。試行錯誤しながら自らの学習を調整している。

### 4. 生徒の学習の実際



図1 Lesson 1-A

Moodle による遠隔授業はこちらからの一方通行なので、その弱点を補うとともに利点を生かせるよう、以下のことに留意した。

- ①一方的に知識を与えない。
- ②対話形式で、相手がそこにいるつもりで授業を進める。
- ③答えを想定して、褒め言葉も入れる。
- ④気づきを促すことばをかける。
- ⑤気づきから、自ら考えていくように仕向ける。
- ⑥自分のペースで進められるよう、一時停止を適時取り入れた。

以下は授業の実際である。

Look at the picture. (吹き出しの部分は白塗りにした。)

Who are talking? 話をしているのは・・・Yes. They are Hiroto and Ms. Allen. What sports do they like? OK, listen. (ここで教科書準拠CDをかける。)

What sports do they like? Yes, you're right. They like soccer. Excellent!

Open your textbook to page 20. (ここで初めて開本させる。)Hiroto says, "I like soccer." 日本語では「私はサッカーが好きです。」と「好きです」が最後に来ますが、英語では「私は好きです」と最初に言ってしまう。そして次に好きなものを入れればよいのです。これが英語のパターンです。パターンを覚えてしまえば、あとはことばを入れ替えれば 何でも好きなことを言えるようになります。どんどんパターンに慣れましょう。

それから、文の最後に何かついていきますね。これは何ですか？そうです。period ですね。日本語の○のようなものです。必ず、文を書くときには忘れないようにしてください。

Ms. Allen says, "Really?" “r”は小文字ですか？大文字ですね。英語の文は大文字で始めるのがルールです。どんな意味ですか？そうですね。「本当？」と聞いているんですね。どうして"Really?"なんて聞いたのでしょうか？その通り！Allen先生もサッカーが好きだからですね。I like soccer, too.のtooは"Nice to meet you." "Nice to meet you, too."のtooと同じtooです。相手だけではなく、自分もの「も」に当たることばです。

それでは本文を読んでいきましょう。Repeat after me. I like soccer. (生徒が繰り返すための間を取る。) I like soccer.

次は“r”サウンドと“I”サウンドの両方を使います。Really? Really?

次は「私も好きなのよ！」と言っているんですね。どこのことばに気持ちが入りますか？そうですね。“I”と“too”に気持ちが入りますね。ですから、I like soccer, too.です。ことばは生き物ですね。Repeat! I like soccer, too. I like soccer, too.

今度は気持ちを込めて、1人で読んでください。一時停止です。

OK, listen to the CD one more time.

Let's go on to page 21. Activities. Listening. 聞き取り活動です。1から4の4人がそれぞれ好きなものを選び、記号で答えてください。(ここで教科書準拠CDをかける。)

Then, let's check the answers together. How many are perfect? Fantastic!

Speaking activities. 話す活動です。相手の発言に応じた会話をしてください。Aさんと同じものが好きな場合はReally? I like soccer, too.ですが、そうでない場合はReally? I like tennis.のようになります。すぐに反応することが大切です。それぞれ2回ずつ、違うものを使ってやります。

1. I like tennis. I like basketball. 2. I like English. I like music.

3. I like apple juice. I like tea.

Writing 書く活動 これに関しては課題の時間にやってください。

OK! That's all for today. それでは課題に取り組んでください。Goodbye, students.

Have a nice weekend.

## 5. 生徒の学習効果と展望

オンデマンドなので、一時停止を用いて、自分のペースで学習を進めることができることが強みである。生徒はこれを使うことによって、教師からの質問に対し、必要に応じて、自由に考える時間を作る

ことができる。また何回も同じところを繰り返すことができるので、説明を聞き逃した場合にはそこに戻ることができるし、難しい単語や文の読みを納得がいくまで、何回も繰り返すことができる。語学の習得にはとても役に立つ機能と言える。

自ら積極的に進めていける生徒はよいが、集中力に欠け、授業中でもこちらから絶えず声をかけなければいけないような生徒は、遠隔授業には向いていないと言えるかもしれない。